

● 新刊のご案内 ●

※フリー入帳

ウィリアム・モリス / 著 城下真知子 / 訳

素朴で平等な社会のために

ウィリアム・モリスが語る労働・芸術・社会・自然

アーティストとしての側面だけではない、
不平等な社会の変革や環境保護のために献身した、
ウィリアム・モリスの言葉をひもとく

● 社会・労働のあり方などにも素晴らしい分析・提言を行ったモリスの数多くの講演の中から8編を、モリス研究家の城下真知子氏が翻訳。19世紀のこれらの講演は、21世紀の今も色あせず、深い共感と感動を呼び起こします。

〈目次より〉

- 1 私はいかにして社会主義者になったか (1894年)
私にとって社会主義とは
経済書より、討論から多くを学んだ ほか
- 2 小芸術 (1877年)
小芸術 (装飾芸術) と大芸術
装飾芸術の二つの役割 ほか
- 3 不当な戦争—英国の労働者たちへ (1877年)
友よ、仲間の市民たちよ
- 4 民衆の芸術 (1879年)
友との対話だから、重い問題も真っすぐに語ろう
芸術を見下す現代の風潮にどう立ち向かうか ほか
- 5 金が支配する世の芸術 (1883年)
芸術の意味を暮らしのすべてに広げてほしい
絵画・彫刻は装飾芸術から切り離され、
身分も上下に分けられた ほか
- 6 意味のある労働と無意味な労苦 (1884年)
「勤勉に働け」にごまかされてはならない
楽しい労働には三つの希望が含まれる ほか
- 7 芸術の目的 (1886年)
人間はなぜ芸術を愛おしみ実践するのか
「芸術を実践するなど愚行」か? ほか
- 8 未来の社会 (1887年)
まずは独占を廃止し、労働者が生産手段を使うこと
未来社会はどうかと想像せずにいられない ほか



「いたい、そんなに金を儲ける必要があるのか?」
ロンドンのわずかな泥土で得られる金のために、
家並みのあいだに生える気持のよい木々を切り倒し、
古い尊い建物を取り壊す。川を汚し、太陽を曇らせ、
煙やもつと有害なもので大気を汚染する。
それでも、誰も、それに心を配り改めるのは自分の責任
だと考えていない。
(本文より)



2019年11月刊 A5判 並製本 253頁 1,800円+税

せせらぎ出版

〒530-0043 大阪市北区天満 1-6-8 六甲天満ビル 10階
TEL 06-6357-6916 FAX 06-6357-9279

E-mail info@seseragi-s.com
Home Page http://www.seseragi-s.com

取次店名・書店名	発行 せせらぎ出版	ウィリアム・モリス / 著 城下真知子 / 訳	定価	冊数	お名前
	素朴で平等な社会のために ウィリアム・モリスが語る労働・芸術・社会・自然		1,980円 (1,800円+税)	冊	ご住所 〒
ISBN978-4-88416-272-6 C0036 ¥1800E					お電話